

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

花めぐり

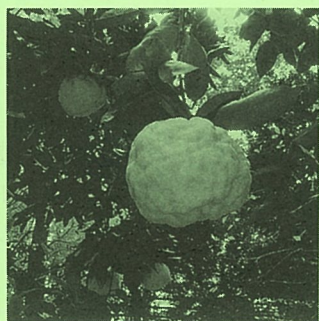
シシユズ(オニユズ)

星葉科大学の正門から左の脇道を行くと、本館の斜め前に黄色い大きな実を数個ほど付けた木があります。これがシシユズです。周りの皮はデコボコしていて、獅子や鬼の顔に似ているところから、この名が付いたのでしょう。

古来、獅子や鬼は邪悪なものを排除する魔除けの力を持つものとして信じられ伝えられてきました。このため、現在でも縁起物として飾られているのを見かけます。

原産地は中国で、奈良時代に渡来したそうです。「ユズ」の名が付いていますが、ユズの仲間ではなくブントンの仲間ということです。したがって、実にはユズのような強い香りはなく、もっぱら観賞用として用いられているようです。また、他の柑橘類と違って甘味や酸味が乏しく、果肉をそのまま生で食べるには不向きで、ピールや砂糖漬け、マーメイドなどの食材として利用されています。

(広報委員 伊藤茂実)



簡易担架を作って運搬法も学ぶ

後地小学校で避難所訓練

各町会から112名が参加

平成27年度の後地小学校避難所訓練が11月29日(日)に実施されました。各町会からの参加者は小山1丁目町会30名、小山2丁目東部町会38名、小山2丁目西部町会44名の合計112名。訓練の内容は、まず名簿作成・受付訓練。名簿を記入、提出して、マスクと靴カバーを受け取って完了。

次いで簡易担架の使い方講習。人形、毛布、アルミ棒を用いて担架を作成し、傷病者の運搬法を学びました。非常用優先電話の体験では、電話セツ

トの取り出しから配線の接続、「非常用伝言ダイヤル171」の利用方法までを習得しました。

このほか、避難スペースでの作業、物資の配布訓練を行いました。

六義園でウォーキング

健康づくり推進委員会

荏原第一健康づくり推進委員会主催によるウォーキングが10月28日(水)、14町会より68名が参加して実施されました。当日は晴天のもと気温も26度に達し、良い汗を流しました。参加者は武蔵小山駅前ロータリーに集合。グループごとに、おにぎりとおミカンを受け取り、南北線に乗り込んで目的地の六義園へ向かいました。

六義園は、川越藩主・柳沢吉保が築園した「回遊式築山泉水」。国の特別名勝として、文化財に指定されています。いつ訪れても四季折々の風景を楽しむことができます。

現地に着後、参加者は二組に分かれて、色づき始めた紅葉を眺めながら、ボランティアガイドの説明に耳を傾け、庭園を巡りました。

景勝地に建てられた石柱や、妹(いも)の山、背(せ)の山のいわれを聞き、渡月橋を渡って藤代峠のいただきへ。ここは「富士見山」と呼ばれ、庭園を一望のもの

街角ウォッチング

荏原第一地区近辺の街路樹

- 中原街道
東京駅あたりから→丸子橋→横浜方面へと続く都道です。メインの街路樹はイチョウの木ですがトチの木も植えてあります。大田区に入るとトチの木が多く見られます。イチョウの木にはオス・メスがありますが、どの木がオスカメスかは分からないそうです。
- 26号線(仮の名称)
正式名称は都道420号線です。鮫洲→大山(世田谷区)→中野あたりまで続き、小山3丁目から戸越3丁目あたりまでの街路樹はトウカエデ(カエデとは葉の形がカエルの手に似ているのが語源と言われる)、東中延からはクスの木が多く植えられています。
- かむろ坂(坂上までが区道、その先26号線までは都道です)
山手通り不動前からゆるやかな坂が続く「かむろ坂」街路樹はサクラでソメイヨシノ、昭和31年ころに植えられたそうです。坂上にある信号から先の都道部分は色が濃いめのヨウコウサクラです。
- 立会道路(区道)
昭和36年、都市計画によって区内を流れる現在の立会川は5.68kmの暗渠になりましたが、立会川駅近くの月見橋あたりから勝島運河に流れ出る0.7kmは水面が見られます。街路樹はサクラです、昭和36年の都市計画の時に植え替えられたものです。

(広報委員 石井貴美子)



都内屈指の大名庭園(六義園のパフレットより)

とに見渡すことができます。いただきには、殿様が腰をおろした、と伝わる石が残されており、それぞれに座る人、立って眺める人がいました。きっと殿様も「絶景かな」とつぶやいたことでしょう。

「ここからゆっくり下りて、つじ茶屋、吟花亭跡を通り、昼食会場の滝見茶屋へ。汗をかいた後のおにぎりの塩加減は格別のものでした。

雪道での安全対策を!

この冬は暖冬傾向の予報が出ているとはいえ、師走を迎えていよいよ冬本番。例年、積雪や路面凍結による転倒事故が増える季節です。とくに雪に慣れていない都会人は事故にあう危険が多くなります。

- そこで、荏原消防署小山出張所に冬場の転倒事故を未然に防ぐポイントをうかがいました。
- 身近な場所、滑りやすい危険な場所を確認しておきましょう。
- 靴底のゴムが柔らかく溝が深いものを選びましょう。
- 雪道を歩く際は、歩幅を小さく、靴の裏全体を路面に付けてゆっくり歩きましょう。
- 降雪後、数日間は事故が多発するので要注意です。
- 積雪、残雪、凍結時は自転車やバイクの使用は控えましょう。
- 毛糸の帽子や手袋は、転倒した場合、体を保護してくれます。

◎各ご家庭に配布しております。1部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は、2月19日(金)発行の予定です。